

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2016-153060(P2016-153060A)  
 【公開日】平成28年8月25日(2016.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-051  
 【出願番号】特願2016-110667(P2016-110667)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行による演出音とを出力する複数の音声出力手段と、

演出表示手段と、

前記音声出力手段から出力する音量を調整可能な第 1 音量調整手段と、

前記音声出力手段と前記演出表示手段とを演出の進行にもとづいて制御する演出制御手段と、

前記音声出力手段から出力する音量を調整可能な前記第 1 音量調整手段とは異なる第 2 音量調整手段と、を備える遊技機において、

前記第 1 音量調整手段と前記第 2 音量調整手段のうち、少なくとも、前記第 1 音量調整手段は、遊技者が調整することができない調整手段とされ、

前記演出制御手段は、

前記第 1 音量調整手段で設定される音量で演出音の音量を調整する演出音音量調整制御手段と、

前記演出表示手段が待機状態とされている期間において、前記第 2 音量調整手段が操作されたことにより該操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を変更する演出音音量変更制御手段と、

初期化条件が成立したときに、前記演出音音量変更制御手段により変更された演出音の音量を遊技者の設定によらない初期音量とする演出音初期化制御手段と、

前記遊技機に対する異常状態を報知するための報知音の音量を前記演出音音量調整制御手段で設定される音量に依存させることなく調整する報知音音量調整制御手段と、

前記演出音の音量を抑制するように変更設定した後に当該演出音の音量を復旧設定するとともに、演出音を当該変更設定している間も当該演出音の進行を継続する演出音進行継続制御手段と、

前記演出音を前記音声出力手段から出力する制御を実行する音出力実行制御手段と、を備え、

前記報知音音量調整制御手段は、

前記演出音音量調整制御手段が前記第 1 音量調整手段で設定される音量に応じて前記演

出音の音量を小さく調整している状態又は前記演出音音量変更制御手段が前記第2音量調整手段の操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を小さく変更している状態であっても、所定の期間状態において、当該演出音の音量と比べて大きい音量に前記報知音の音量を調整し、

前記演出音進行継続制御手段は、

前記所定の期間状態において前記演出音の音量を抑制するように変更設定し、当該所定の期間状態が終了すると、当該演出音の音量を復旧設定するとともに、当該所定の期間状態に亘って当該演出音の進行を継続し、

前記音出力実行制御手段は、

前記所定の期間状態において、報知音による音量と演出音による音量とを合成して出力するものの、当該演出音の音量値を抑制するように変更設定することで当該報知音を前記音声出力手段から出力可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来から、ボリュームで設定される音量に応じたレベルに増幅した音声信号をスピーカに出力する遊技機が提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2011-30651号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、遊技機は、異常状態の発生をホールの店員等に報知するための報知音をスピーカから流すため、ボリュームを絞って音量が小さく操作されると、演出音の音量に加えて報知音の音量も小さくなりホールの店員等が異常状態の発生を気づきにくいという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の主な利点は、演出音の音量を小さくしても、報知音によりホールの店員等が異常状態の発生を気づき難くなることを防止することができる遊技機を提供することである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[適用例1]

遊技機に対する異常状態を報知する報知音と、遊技の進行による演出音とを出力する複数の音声出力手段と、

演出表示手段と、

前記音声出力手段から出力する音量を調整可能な第1音量調整手段と、

前記音声出力手段と前記演出表示手段とを演出の進行にもとづいて制御する演出制御手段と、

前記音声出力手段から出力する音量を調整可能な前記第1音量調整手段とは異なる第2音量調整手段と、を備える遊技機において、

前記第1音量調整手段と前記第2音量調整手段のうち、少なくとも、前記第1音量調整手段は、遊技者が調整することができない調整手段とされ、

前記演出制御手段は、

前記第1音量調整手段で設定される音量で演出音の音量を調整する演出音音量調整制御手段と、

前記演出表示手段が待機状態とされている期間において、前記第2音量調整手段が操作されたことにより該操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した演出音の音量を変更する演出音音量変更制御手段と、

初期化条件が成立したときに、前記演出音音量変更制御手段により変更された演出音の音量を遊技者の設定によらない初期音量とする演出音初期化制御手段と、

前記遊技機に対する異常状態を報知するための報知音の音量を前記演出音音量調整制御手段で設定される音量に依存させることなく調整する報知音音量調整制御手段と、

前記演出音の音量を抑制するように変更設定した後に当該演出音の音量を復旧設定するとともに、演出音を当該変更設定している間も当該演出音の進行を継続する演出音進行継続制御手段と、

前記演出音を前記音声出力手段から出力する制御を実行する音出力実行制御手段と、を備え、

前記報知音音量調整制御手段は、

前記演出音音量調整制御手段が前記第1音量調整手段で設定される音量に応じて前記演出音の音量を小さく調整している状態又は前記演出音音量変更制御手段が前記第2音量調整手段の操作に応じて前記演出音音量調整制御手段が調整した前記演出音の音量を小さく変更している状態であっても、所定の期間状態において、当該演出音の音量と比べて大きい音量に前記報知音の音量を調整し、

前記演出音進行継続制御手段は、

前記所定の期間状態において前記演出音の音量を抑制するように変更設定し、当該所定の期間状態が終了すると、当該演出音の音量を復旧設定するとともに、当該所定の期間状態に亘って当該演出音の進行を継続し、

前記音出力実行制御手段は、

前記所定の期間状態において、報知音による音量と演出音による音量とを合成して出力するものの、当該演出音の音量値を抑制するように変更設定することで当該報知音を前記音声出力手段から出力可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、演出音の音量を小さくしても、報知音によりホールの店員等が異常状態の発生を気付き難くなることを防止することができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】